

建設産業委員会会議録

平成29年3月28日(火)

午後1時30分 開会

○鈴木幸彦委員長

ただいまから建設産業委員会を開会します。協議題1の閉会中の調査事項についてを議題とします。前回の委員会におきまして、委員の皆様からご意見を頂き、委員会報告を修正させていただきました。事前にご配布させていただきましたが、一度お目通しいただきたいと思います。しばらく休憩します。

午後 1時32分 休憩

午後 1時33分 再開

○鈴木幸彦委員長

委員会を再開します。委員の皆様から順にご意見をいただきたいと思います。

○嶋崎昌弘委員

一つ気になったのですが、75行目と91行目については「建替え時には、PFIの・・・」「建替え時には、単身者・・・」と二つ出てくるので、一つにまとめるべきではないかと思います。あと、119行目、「場当たりのな」という表現は改めるべきではないかと思います。

○山田清一委員

提言の長期的な視点のところに「建て替えの際はPFIやDBO等の手法など・・・」と入っているので、75行目の委員の意見の部分については、省いてしまっ方がすっきりするのかなと思いました。

○小栗佳仁委員

109行目に「公営住宅の入居者はなんらかの福祉サービスを・・・」という表現がありますが、「なんらか」という表現は省いて、「公営住宅の入居者は福祉サービスを・・・」という言い回しの方がすっきりするのでは、と思いました。また、福祉部局との住み分けの部分については、もう少し具体的な表現に変えるべきではと思いました。

○中村宗雄委員

全般的には、皆さんの意見が集約されている良いまとめになっているかと思います。ただ気になったところが、まず小栗委員からも指摘があった「福祉部局との住み分け」という部分です。住み分けをするのではなくて、今までのように事務を建築課が所管するのではなくて、例えば福祉部局に軸足を置くですとか、仕組みを変えなければいけない。相手にしている方達が公営住宅という性質上、ターゲットは福祉に関わる人が多い訳です。事務の仕組みを変える必要があるという表現にしていきたいということが一点。

あと119行目、先ほど嶋崎委員も言われたのですが、「場当たりのな修繕に大きな費用をかけない」ということよりも、壊れたから直すといったような計画性のない修繕という事が言いたい訳ですので、そのような表現に改めるべきではと思います。

続いて123行目で、空き部屋の話が出てきているのですが、目的外使用を推進するのではなくて、空きストックの活用をしてほしいという事が言いたい訳だと思います。目的外使用は、そのための一つの手段としてあるだけであって、空きストックをいかに有効に

利用していくのかということを確認に表現すべきと感じました。

最後に138行目で、「会議の中で課題や問題点を検討していく・・・」とありますが、検討だけではなくて問題を解決する必要がありますので、そのような表現を含めた方がいいかと思います。

○山本佳代子委員

126行目の部分で、「市街化調整区域に立地する老朽化住宅については・・・」とありますが、市街化調整区域に立地する住宅は比較的新しいのではないかと思います。緑ヶ丘や君ヶ橋のところでもそれほど古くないと思います。ですので、この表現については少し問題があるのかなと思います。長期的というものが、どれくらいのスパンを意味しているのか定かではありませんが、除去対象と言い切ってしまうものか疑問であります。

○加藤美幸副委員長

建て替え等のハードの事と運営の仕方についてのソフトのことは、分けた方が良くはないかと思います。

○鈴木幸彦委員長

しばらく休憩します。

午後 1時42分 休憩

午後 2時33分 再開

○鈴木幸彦委員長

再開します。先ほど皆さんから案文についてたくさんご指摘をいただきました。その部分について、正副委員長と当局で取りまとめて修正させていただきます。その後、再度皆様にご確認いただく場を設けたいと思います。次回の委員会につきましては、当初予定させていただいた通り、4月6日（木）全員協議会終了後に実施したいと思いますのでよろしく申し上げます。事前にメール等で案文を送付させていただきますので、ご確認の上、委員会に臨んでいただきたいと思います。

次に、協議題2のその他を議題とします。その他でなにかありましたらお願いします。

【「なし」との声あり】

ないようですので、これをもちまして建設産業委員会を閉会します。

午後 2時35分 閉会